

障がいのある方の雇用に取り組む

株式会社

桂建材店 (京都市西京区)

「京都はあとふる企業」です



【主な事業内容】 建築資材卸、販売

【障がいのある方の仕事】 ドライバー、荷受け・荷下ろし、土嚢づくり、場内の管理など

【障がい者雇用の経緯】

15年以上前に、知人の紹介で身体障がいのある方を雇用しました。その後、日本理化学工業(株)の大山社長の著作を読み、自社でも障がい者雇用に取り組めないかと思い、支援機関等の実習の受入れから始めました。向日が丘支援学校の実習受入を経て初めて知的障がいのある方を雇用しました。



【プレッシャーをかけない働き方を】

身体障がいのある方(ペースメーカー装着)は、ミキサーカーのドライバーをしています。重量物運搬の配慮、通院保障をしています。

知的障がいのある方は、卸業者や購入者などのトラックへの荷受け・荷下ろし、土嚢づくり、場内の製品整理などの力仕事を担当しています。

プレッシャーをかけないように、年齢の近い先輩とペアを組み、仕事も一緒にやって覚えてきました。コロナ禍での自宅待機も乗り切り、短期間で、土嚢に詰める砂の量や締め方もマスターし、商品名もほとんど覚え、身体もたくましくなりました。

障がい者雇用の取り組みを通して、特別支援学校や様々な支援機関、行政関係者、京都中小企業家同友会の方など多くの人々との繋がりが広がりました。社員の気配りも豊かになり、思いやりのある企業になっていくことを目指しています

【Iさんに聞きました】

1年目です。昨年、清掃や接客などの実習をしましたが、ここで初めて力仕事をしました。重い物もあり大変でしたが、意外と合っているように思いました。社員の方も優しく、ここで働こうと思いました。

先輩と一緒に仕事しながら、見て覚えてきました。

一人で出来ることも増え、お客さんに「ありがとう」と言われるとうれしいです。給料をもらった時は、仕事のやりがいを感じます。

